

平成18年度第2回山梨県子ども読書活動推進会議報告

平成18年12月12日(火)山梨県立図書館会議室において、山梨県教育委員会主催「平成18年度第2回山梨県子ども読書活動推進会議」が開催されました。10名の委員の構成は県内の公共図書館関係者4名、学校図書館関係者2名、幼稚園・保育所等関係者1名、NPO・ボランティア団体代表1名、有識者(図書館利用者)2名となっています。

今年度第1回目の会議は8月3日(木)に「県における取り組みについて」「状況報告・意見交換」等の内容で行われました。

今回の会議では「来年度の事業計画に関する意見・提言」という議題で御意見を伺いました。今年度より山梨県教育委員会と山梨大学附属図書館子ども図書室との共同で行われている『子どもの読書活動推進スキルアップ講座』—平成18年度 子どもと絵本・連続講座—の様子やアンケート結果などを参考に来年度の講座内容や取り組み方について話し合われました。また、山梨県立図書館のホームページに新たに開設した『やまなし子どもの読書情報』のコーナーについても紹介し、より良い情報発信のページになるよう御意見・御助言等をお伺いしました。

最後に子どもの読書に関する新しい取り組みや最近の動向等についての情報を、各委員からお伺いする中で、『子どもの読書環境整備のためのチェック項目』社団法人日本図書館協会発行(2005.7)が紹介されました。チェック項目が「家庭・地域における子どもの読書環境」「学校等における子どもの読書環境」「子どもの読書環境整備のための家庭・地域と学校等の連携」と、いろいろな立場の方にあてはまり、現状把握の目安が立てられ、項目について取り組みがなされていない場合の「取り組みの必要性の喚起」「新たな課題としての取り組み、計画」に役立てていただける資料です。

06子どもの読書と 学校図書館の現状

全国SLA研究・調査部が調査した「第52回読書調査報告」「2006年度学校図書館調査報告」が『学校図書館 2006年11月号』(全国学校図書館協議会)に掲載されています。また、「学校図書館図書整備費の実施状況」も掲載されています。

「読書調査」は、児童生徒の読書状況と、子どもたちを取り巻く読書環境に関わりの深い設問を合わせて調査しています。

1か月の平均読書冊数では小学生が昨年より2.0冊の増加で9.7冊となり過去最高を記録しています。一方、中学生・高校生はともに0.1冊減となっていて、それぞれ2.8冊、1.5冊でした。

今年度の「学校図書館調査」は、①学校図書館の整備方針、②他の分掌との連携協力、③図書委員会の位置づけと活動、等の項目で実施されました。

平均蔵書冊数は、小学校では7,970冊、中学校では10,502冊、高校では23,098冊で、中学校が昨年より大幅アップしていますが、小学校・高校ではやや減少しました。また、学校図書館の1人あたりの蔵書冊数は小学校、中学校、高校ともに前年度よりわずかながら増えています。しかし、1人あたりの蔵書冊数の最低値と最高値には大きな開きがあり、学校間における格差が広がっています。

子どもと絵本・連続講座

山梨県教育委員会と山梨大学との共同企画による子どもの読書活動推進スキルアップ講座(全5回)です。今回最終講座になります。(来年度もスキルアップ講座が開催されます。)

第5回:「絵本の世界の生(いのち)と性(ジェンダー)」

講師:秋山麻実氏

(山梨大学教育人間科学部 助教授)

日時:平成19年1月16日(火)

午後2時~(終了予定4時)

会場:山梨県立文学館 研修室

甲斐市貢川1丁目5-35

絵本は、子どもたちに想像の世界への扉を開き、また現実の世界の意味を与えます。絵本の世界で生きる時間は、子どもにとってどのような意味を持つのでしょうか。命や性の問題と絡めながら考えます。

対象:子どもの読書に関心のある方。

主催:山梨県教育委員会社会教育課

山梨大学附属図書館子ども図書室

電話:055-223-1771(社会教育課)

FAX:055-223-1775()

E-mail:shakaikyo@pref.yamanashi.lg.jp

申込み:県立図書館、市町村立図書館等で配布されるチラシをご覧ください。電話等でも受け付けます。

○世界の絵本がやってきた
—フラティスラヴァ世界絵本原画展

開催日時：平成19年1月20日(土)～
3月11日(日)

午前10時～午後8時
(入館は午後7時30分まで)

休館日：月曜日(2月12日は開館)
2月13日(火)

会場：三鷹市美術ギャラリー
東京都三鷹市下連雀3-35-1 コルフ

電話：0422-79-0033

観覧料：会員640円、一般800円、
学生(高・大)500円

HPから一般の割引券が印刷できます。

内容：スロヴァキア共和国の首都、プラティスラヴァで2年に1度開かれる、世界最大規模の絵本原画展の日本巡回展。2005年展受賞作品46点と日本人作家の出品作56点のほか、43か国の様々な絵本を紹介。また、スロヴァキアの隣国チェコの絵本および画家を体系的に紹介。

URL：<http://mitaka.jpn.org/gallery>

○第7回
子どもの本この1年を振り返って 2006年

2006年はどんな本が出版され、どのように読まれたのでしょうか。図書館員や児童図書研究グループからの代表者たちが、今年度話題になったイチオシの本を発表します。

開催日：平成19年1月26日(金)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟102(東京都渋谷区)

内容：第1部 10:30～11:30

講演『「週刊こどもニュース」で伝えたかったこと』池上彰氏(ジャーナリスト)

第2部 13:00～16:30

発表2006年の子どもの本

定員：180名(お申込みはお早めに)

参加費：3000円

主催：NPO図書館の学校

電話：03-3943-0666

申込み：「お名前」「会員番号」(会員でない方は、入会を希望するかどうかを記入)「勤務先」「連絡先ご住所・TEL・FAX」をご記入の上メール(npo@toshokan.or.jp)またはFAX(03-5978-3291)にてお申し込み下さい。

URL：<http://www.toshokan.or.jp>

○オランダ絵本作家展
かえるくん、ミッフィーとオランダ絵本の仲間たち

開催日時：平成19年2月1日(木)～
2月20日(火)

午前10時～午後8時
(入館は午後7時30分まで)

※最終日の入館は午後5時まで
会期中無休

会場：大丸ミュージアム・東京
(大丸東京店12階)

東京都千代田区丸の内1-9-1

電話：03-3212-8011

入場料：一般800円(600円)、
大高生600円(400円)

※()内は前売および10名様以上の団体料金。前売券はチケットぴあ他チケットぴあ取り扱い各店にて1月31日(水)までお求め頂けます。

内容：日本でも人気の高いミッフィーを生んだディック・ブルーナや、オランダを代表する絵本作家、マックス・ベルジュイス。ふたりの作品にスポットを当てながら、現代オランダの絵本作家の原画も多数紹介されます。

主催：産経新聞社

URL：<http://www.daimaru.co.jp/museum/>

児童文学作家・絵本作家・画家情報コーナー

『だるまちゃん』シリーズや『とこちゃんはどこ』などのユーモラスな絵本から、科学絵本や知識絵本など幅広い作風で活躍されているかこさとし氏を紹介いたします。

■ かこさとし(加古里子 1926-)

1926年福井県生まれ。東京大学工学部応用化学科卒業。工業博士。昭和電工に25年勤めながら、セツルメント活動、児童文化活動に携わる。退社後は絵本の創作活動をはじめ子どもの文化に関わる幅広い分野で活躍。(「絵本の作家たちIV」より)

◇文献 『加古里子絵本への道』(福音館書店・1999年)『絵本の作家たちIV(別冊太陽)』(平凡社・2006年)『かがくする心の絵本100(別冊太陽)』(平凡社・2003年)『絵本の歴史をつくった20人』(創元社・1993年)『岩田美津子の絵本探検』(JURA出版局・1997年)『おじいさんがかぶをうえました』(福音館書店・2005年)『ねえこの本読んで! きいろのまき、みどりのまき、水色の巻』(リブリオ出版・2001年)『月刊MOE 2006年10月号』(白泉社・2006年)

◇サイト

絵本ナビ作家紹介-かこさとし-

<http://www.ehonnaivi.net/author.asp?n=13>

絵本のちから絵本の可能性

「絵本フォーラム」28号 2003.05.10

『遊びを追求する子どもたち』かこさとし氏

<http://www.holpforum.com/c10.html>